

令和4年度

予算概要説明書

新見市

令和4年度 当初予算の概要

令和4年度の一般会計当初予算は、新型コロナウイルス感染症の影響により顕在化した行政需要にスピード感をもった的確に対応するため、ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた課題への取組、人口減少問題に対応するための移住・定住の推進を柱とし、「第3次新見市総合計画」の基本構想の実現を加速化させる積極的な予算編成を行っています。

歳入については、市税全体では、償却資産に係る固定資産税の増加などにより、前年度に比べ2.6%増の34億266万円を計上しています。また、地方交付税については、前年度に比べ1.8%増の116億300万円、繰入金については、ふるさとにのみ応援基金や地域づくり振興基金などを活用することにより、前年度に比べ103.8%増の10億3,920万円、市債については、普通建設事業費の大幅な増額により、前年度に比べ53.9%増の33億2,590万円を計上しています。

歳出については、新型コロナウイルス感染症における予防対策や経済支援対策のほか、脱炭素社会の実現に向けた施策や農林業従事者の確保対策に積極的な予算配分を行っています。また、ふるさと納税促進事業の更なる推進、地域のニーズに合った交通体系の整備、地域共生社会の構築を目指す取組などにも継続かつ拡充した予算配分を行っています。

新たな事業としては、ICOCAを活用した地域活性化プロジェクト事業、コンビニ収納及びスマートフォン決済導入事業などのDX推進事業のほか、観光戦略マネージャー活用事業や食を通じた新見の魅力向上プロジェクト事業など観光誘客を戦略的に進める事業を計上しています。

義務的経費については、人件費が消防団員の報酬改正による増額などにより、前年度に比べ1.7%増の48億5,172万円、公債費が市債の発行抑制や繰上償還の実施などにより前年度に比べ2.8%減となる33億9,603万円となっています。

普通建設事業費については、消防庁舎整備事業、哲多認定こども園整備事業、哲西老人福祉施設改修事業、西方小学校大規模改修事業に加え、緊急自然災害防止対策事業や市道改良舗装事業を増額したことなどにより、前年度に比べ92.6%増となる35億6,769万円、災害復旧費については、前年度に比べ75.8%減の2億6,583万円を計上しています。

以上の結果、一般会計の当初予算総額は、前年度に比べ8.7%増の250億4,958万円となっています。

令和4年度 当初予算主要事業

新 = 新規事業 **継** = 継続事業 **拡** = 拡充事業

DX = DX事業

I 産業・経済

～産業の活力を高め、持続可能な地域経済をつくる～

DX **新** ■ ICOCAを活用した地域活性化プロジェクト事業

あらかじめ一定額をチャージした本市独自デザインのICOCAを市民に配付し、地域におけるキャッシュレス化を推進するとともに、地元の商店等における消費の促進を図ります。

予算額 301,800 千円
担当課 商工観光課

新 ■ 新規就農者育成総合対策事業

50歳未満の農業従事者の拡大を図るため、就農に向けた研修資金、経営開始時の投資を基本とする資金などを助成します。また、研修向け農場の整備や技術サポート等の取組を支援します。

予算額 4,184 千円
担当課 農林課

新 ■ 新規就農者確保対策事業

新規就農者の負担を減らし早期の経営基盤を確立するため、50歳未満の新規就農者が果樹棚等を整備する場合、工事費を除く資材費の全額を助成します。(50歳以上55歳未満の新規就農者には4分の3を助成)

予算額 11,793 千円
担当課 農林課

新 ■ 強い農業づくり交付金事業

集出荷施設の再編を行う農業団体に対して、ぶどうの選果場では国内初となる近赤外光照射による鮮度保持装置などの選果機導入経費の一部を助成します。

予算額 120,000 千円
担当課 農林課



拡

■ 豊永営農団地開発事業

ぶどう栽培の新規入植者の圃場整備が課題となっていることから、豊永営農団地(ハート団地)を拡張し、新たな圃場を確保します。

予算額 70,000 千円
担当課 農林課



新

■ アグリツーリズム推進事業

自然や農産物などの地域資源を活かした地域活性化を図るため、現在休止しているカルスト山荘長期滞在施設(ヴィラージュかれんふえると)の再開に向け、6棟のうち2棟を改修します。

予算額 32,024 千円
担当課 農林課



新

■ 優良種雄牛精液導入事業

種牛の品質を向上させるため、和牛飼育農家へ県内外の優良種雄牛の凍結精液を配付することで畜産農家の所得向上につなげます。

予算額 3,000 千円
担当課 農林課



新

■ 全国和牛能力共進会出品事業

5年に1度開催される全国和牛能力共進会(鹿児島大会)に代表牛を出品し、千屋牛の魅力を全国に発信するとともにブランド力の向上につなげます。

予算額 4,126 千円
担当課 農林課



拡

■ ウッドスタート事業

木育の推進や木材加工分野の活性化を図るため、新見産木材を活用した木のおもちゃを市内で製作し、1歳6か月児健診時にプレゼントします。また、本年度から新規の作り手を育成します。【森林環境譲与税事業】

予算額 5,217 千円
担当課 農林課



新

■ 岡山デスティネーションキャンペーン開催事業（観光PR事業）

JRや県観光連盟が主体で実施する岡山デスティネーションキャンペーンの開催にあわせて、御殿町や太池邸などを中心とした観光資源をPRします。

予算額 2,200 千円
担当課 商工観光課



新

■ 食を通じた新見の魅力向上プロジェクト事業（観光PR事業）

本市の魅力向上や交流人口を拡大するため、A級食材をテーマとした観光プランやアグリツーリズムプランを開発し、本年度はプランのモニターツアーを実施します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額 4,400 千円
担当課 商工観光課



新

■ ふるさと大使観光PR動画作成事業（観光PR事業）

ふるさと大使である石原祐美子さん(チキチキジョニー)出演のPR動画を作成し、本市の魅力を全国に発信します。

予算額 1,800 千円
担当課 商工観光課



新

■ 観光戦略マネージャー活用事業

専門的な知識やノウハウを有する民間企業の社員を受け入れ、観光協会の体制強化を図るとともに、市内外の観光関連事業者等との連携強化や新たな観光商品の開発等を行います。

予算額 11,000 千円
担当課 商工観光課



新

■ 新見・高梁・真庭観光連携事業

隣接する市と連携して周遊ルートを開発し、新見・高梁・真庭の観光施設を周遊する企画旅行を実施した旅行者に対して補助金を交付します。

予算額 2,000 千円
担当課 商工観光課



継

■ 農業実務研修支援事業

ぶどう、トマト、リンドウの経営を開始する新規就農者に対して農業実務研修に係る経費の一部を助成します。(55歳以上60歳未満の支援は市独自の助成)

予算額 2,600 千円
担当課 農林課



継

■ 農業後継者定住促進事業

農業経営者クラブ等への補助による農業後継者の育成や、新規就農者への住宅賃借料、リフォーム費等の補助を行うことにより、農業後継者や新規就農者の定住促進を図ります。

予算額 3,704 千円
担当課 農林課



継

■ ワイン用ぶどう苗木購入助成事業

ワインの増産を図り、更なるブランド化に繋げるため、ワインぶどう就農者に対して、苗木購入に係る費用を助成します。

予算額 1,100 千円
担当課 農林課



継

■ 農林畜産漁業創業支援事業

農林畜産漁業における企業参入を促進し、雇用機会の創出や6次産業化の推進を図るため、市内に加工場を整備し、5人以上の新規雇用を行った企業に対して運営支援を行います。(3,000万円×2社)

予算額 60,000 千円
担当課 農林課



継

■ 園芸作物作付奨励事業

耕作放棄地の増加を抑制するため、ぶどう、トマト、リンドウ、桃の作付を行う地域の中心的担い手に農地の利用集積を行う場合、貸し手と借り手に奨励金を交付します。

予算額 400 千円
担当課 農林課



継

■ 有害鳥獣捕獲駆除事業

農作物に被害を与えるイノシシやサルなどの有害鳥獣を駆除するため、捕獲奨励金や防護柵設置補助金などを支給します。

予算額 59,946 千円
担当課 農林課



継

■ 千屋牛増頭奨励金給付事業

千屋牛の増頭を図るため、黒毛和種の繁殖牛を導入した場合、その導入頭数に応じて奨励金を交付します。

予算額 11,500 千円
担当課 農林課



継

■ 林業成長産業化地域創出モデル事業

森林所有者の所得向上や地域経済を活性化するため、真庭市と共同で新見・真庭地域の広域連携、民有林・国有林の連携による効率的な森林整備等を行います。

予算額 2,750 千円
担当課 農林課



継

■ 地域林業担い手育成事業

市、県及び市内の林業事業体等で構成する新見市林業担い手対策協議会が若者、移住者等に向けた林業のPR活動や就業相談等を行い、林業担い手の育成と確保を行います。【森林環境譲与税事業】

予算額 1,149 千円
担当課 農林課



継

■ 木材生産向上支援事業

森林施業等の効率化及び生産性の向上を推進するため、高性能林業機械等の新規購入に比べて安価な中古機械の購入費用の一部を助成します。【森林環境譲与税事業】

予算額 40,000 千円
担当課 農林課



継

■ 新特産品（木材）開発事業

新見産ヒノキを使用した木のおもちゃの開発・研究を行います。【森林環境譲与税事業】

予算額	500千円
担当課	農林課



継

■ 新見産材のぬくもりを活かした家づくり支援事業

新見産材の需要拡大のため、木造住宅の新築または既存住宅の増改築に係る経費などを支援します。【森林環境譲与税事業】

予算額	13,000千円
担当課	農林課



継

■ 法務局証明サービスセンター運営事業

中小企業支援対策として、市内で法人の印鑑証明や不動産の登記事項証明書の取得を可能にするため、法務局証明サービスセンターを運営します。

予算額	9,824千円
担当課	商工観光課



継

■ 新型コロナウイルス感染症関連融資利子補給事業

新型コロナウイルス感染症の影響で経営に支障が出ている中小企業者等に対して、経営の安定に必要な資金として金融機関から受けた融資の利子を補給します。

予算額	9,240千円
担当課	商工観光課



継

■ 創業・事業承継支援事業

地域における創業促進のため、創業支援セミナーを開催します。また、市内で新たに創業する人や事業承継する人に対し、創業・事業承継支援事業補助金(上限100万円)を交付します。

予算額	5,525千円
担当課	商工観光課



継

■ 経営革新支援事業

中小企業の経営向上を図るため、新たな事業展開を図る場合に要する経費の一部を支援します。

予算額 10,000 千円
担当課 商工観光課



継

■ 中小企業支援事業

市内中小企業者に対し、展示会出展事業、店舗等改装事業、多言語化対応事業にかかる経費を支援します。

予算額 6,200 千円
担当課 商工観光課



継

■ A級グルメフェア開催事業

販路開拓等につなげるため、千屋牛、ピオーネ、キャビアなどの新見が誇る高級食材を使ったA級グルメフェアを都市圏等で開催します。【ふるさとにしみ応援基金活用】

予算額 4,000 千円
担当課 商工観光課



継

■ 周遊型観光ツアー助成事業

本市の観光施設等の観覧を目的とした企画旅行を実施した旅行業者に対して、送客実績に応じて補助金を交付します。

予算額 10,200 千円
担当課 商工観光課



継

■ 観光バスツアー助成事業

市民を対象に新型コロナウイルス感染症拡大地域以外を訪問する観光バスツアーを企画した市内のバス事業者に対し、補助金を交付します。

予算額 10,200 千円
担当課 商工観光課



継

■ 予約型観光タクシー運行補助事業

観光客に市内の観光地を十分に周遊してもらうため、タクシーを利用した観光を実施するタクシー事業者に対し、補助金を交付します。

予算額	2,000 千円
担当課	商工観光課



継

■ I J U ターン就職相談事業

小規模な事業所の求人情報などを収集し、あわせて就職を希望する市外在住者の情報を集める地域密着型の相談窓口を開設し、市独自の就職支援を行います。

予算額	3,806 千円
担当課	商工観光課



継

■ 資格取得費支援事業

専門人材の確保・育成及び定着を支援するため、地元企業及び従業員に対して、資格取得に係る経費を助成します。

予算額	3,000 千円
担当課	商工観光課



継

■ 就職支援事業

市内事業所の雇用確保のため、市外から転入し市内事業所へ正社員として就労する人に対して、転居に要する費用として、支援金を交付します。

予算額	9,000 千円
担当課	商工観光課



継

■ 就職支援事業（東京圏分）

就職奨励事業で東京圏から転入し市内事業所へ就労する人に対して、転居に要する費用等の支援金を増額します。（単身世帯：60万円、2人以上の世帯員がいる場合：100万円）

予算額	2,000 千円
担当課	商工観光課

II 健康・福祉

～健やかに暮らせ、子育てができるまちをつくる～

DX

新

■ 保育所等 ICT 化推進事業

保育士の負担を軽減し、より良い教育・保育の環境づくりを実現するため、保育所・認定こども園にWiFi環境の整備と業務支援システムの導入を行います。

予算額	13,614 千円
担当課	こども課

新

■ 移動販売車購入支援事業

買物に課題を抱える高齢者等が増える一方、移動販売は縮小撤退の傾向にあることから、移動販売事業者に対して移動販売車の購入に係る費用の一部を助成します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額	5,000 千円
担当課	総合政策課

継

■ にのみ 24 時間安全安心相談ダイヤル事業

市民の健康、医療、介護、育児等の相談について、医師、保健師、看護師などの専門スタッフに無料で電話相談できるサービスを、24時間年中無休で行います。

予算額	2,601 千円
担当課	市民課

継

■ 不妊・不育対策支援事業

医療保険対象外の不妊治療及び不育治療を受けた夫婦に対して、その治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を行います。

予算額	4,050 千円
担当課	健康づくり課

継

■ 乳児・妊産婦個別健康診査無料化事業

乳児及び妊産婦の疾病、異常の早期発見・対応を図るため、一般健診の無料化を行います。

予算額	17,360 千円
担当課	健康づくり課



継

■ 妊娠・出産包括支援事業

妊娠期から子育て期にわたり、地域で安心して子育てができる環境づくりとして、母子保健コーディネーターの配置、母乳・育児相談、産後ケア入院、産後ヘルパー訪問、親子ふれあい教室等を開催します。

予算額 3,849 千円
担当課 健康づくり課



継

■ 新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルス感染症の予防接種を行います。

予算額 189,080 千円
担当課 健康づくり課



継

■ PCR検査実施事業

新型コロナウイルスの感染症の拡大防止のため、PCR検査を希望する市民が医療機関で検査を受けた際に費用助成を行います。また、行政検査の対象とならなかった人に対して、市独自のPCR検査を実施します。

予算額 8,000 千円
担当課 健康づくり課



継

■ 看護学生奨学支援金給付事業

市内の医療機関に看護師として勤務する意志がある学生に対し、修学に必要な資金を給付します。

予算額 20,414 千円
担当課 市民課



継

■ 岡山大学寄付講座（総合診療医学講座）

【国民健康保険特別会計】地域医療を担う若手医師の育成や教育・研究などに取り組んでいる岡山大学から医師の派遣を受け、へき地診療所に地域医療を担う人材を確保します。

予算額 22,612 千円
担当課 市民課



継

■ ファミリー・サポート・センター事業

会員登録している育児の援助を受けたい人と援助を行う人の依頼条件の調整を効率的に行うため、新見公立大学にいみ子育てカレッジにアドバイザーを配置します。

予算額	2,730 千円
担当課	こども課



継

■ 地域子育て支援拠点事業

子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の充実のため、にいみ子育てカレッジ交流ひろば”にこたん”及び子育て支援センターを運営します。

予算額	8,970 千円
担当課	こども課



継

■ 子育て支援金支給事業

次代を担う子の健やかな成長と明るい家庭を築くため、子育て支援金として1人につき10万円の出生祝金を支給します。

予算額	12,000 千円
担当課	こども課



継

■ 子育て支援医療費給付事業

子育て環境の充実のため、市独自の取組として18歳まで医療費自己負担分の全額を給付します。

予算額	105,729 千円
担当課	こども課



継

■ 哲多認定こども園整備事業

令和5年4月開園を目指し、哲多地域に新たな認定こども園を建設します。

予算額	310,893 千円
担当課	こども課



■ 哲西老人福祉施設改修事業

施設利用者に安全・快適なサービスを継続的に提供するため、哲西老人福祉施設の空調・給湯・発電機設備等の改修を行います。

予算額	255,800 千円
担当課	福祉課



■ 介護学生奨学支援金給付事業

市内の福祉施設等に介護福祉士として勤務する意志のある学生に対し、修学に必要な資金を給付します。

予算額	3,085 千円
担当課	介護保険課



■ 身体障害者等自動車利用支援事業

障害者、その介護者又は福祉有償運送を行う法人が福祉車両を購入する際に要した費用の一部を助成します。また、障害者の自動車運転免許の取得や自動車改造に要した費用の一部を助成します。

予算額	950 千円
担当課	福祉課



■ 成年後見制度法人後見支援事業

高齢者や障害者等の権利擁護を図るため、法人後見専門員の配置、支援員の育成、制度利用相談・促進などの権利擁護体制整備と適正実施を支援します。

予算額	9,702 千円
担当課	福祉課



■ 手話通訳者養成研修事業

手話通訳者を養成するため、手話であいさつや簡単な会話ができる手話奉仕員の養成講座研修を行います。

予算額	1,074 千円
担当課	福祉課

Ⅲ 教育・文化・スポーツ

～誰もが生き活きと輝く個性を育むまちをつくる～



新

■ 論語教育推進事業

全小中学校の児童生徒に「論語」を題材とした教材を配布し、規範意識の醸成や人としての生き方を考えさせるなど、刻々と変化する社会を生き抜く力を育む教育を実施します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額	1,892千円
担当課	学校教育課



新

■ 小学校統合円滑化事業

井倉小学校、萬歳小学校の統合による児童の精神的な不安を解消するため、各学校に市費負担の教職員を配置し、統合先の教育課程に合わせた学習内容の指導を行います。

予算額	8,386千円
担当課	学校教育課



新

■ ドローンプログラミング事業

新たなプログラミング教育の取組として、ドローンを活用した、より高度なプログラミング教育の研究を進めます。(本年度はモデル校として哲西中学校、矢神小学校、野馳小学校で実施)

予算額	480千円
担当課	学校教育課



新

■ ふるさと絵本出版事業

竹の谷蔓牛の歴史を後世に伝え、本市の特長を生かしたまちづくりにつながる目的から、その歴史をテーマとした絵本を作成し、小学校等への配布や総合学習での教材に活用します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額	2,200千円
担当課	生涯学習課



新

■ 文化財保存活用地域計画策定事業

文化財の保存継承、防犯防災対策、災害等発生時の対応や体制整備を明確化するため、文化財保存活用地域計画を策定し、文化財を本市の貴重な資源として活用します。

予算額	1,473千円
担当課	生涯学習課



新

■ 日本画購入事業

本市とゆかりのある日本画家・平山郁夫の系譜に連なる画家の日本画3点を購入します。

予算額	30,800 千円
担当課	生涯学習課



継

■ 子ども会議開催事業

子どもたちの視点や意見を聴取する場とするとともに、学校間のつながりや情報共有・意見交換を行うため、新見市子ども条例に基づく子ども会議を開催します。

予算額	613 千円
担当課	総合政策課



継

■ 放課後児童健全育成事業

放課後の時間帯等に保護者が就労等で不在の児童を健全に育成するため、地域や保護者等が中心となって遊びや生活の場を提供する放課後児童クラブに対して、運営補助金を交付します。

予算額	53,917 千円
担当課	学校教育課



継

■ 学力向上推進事業

小中学生の学力向上を図るため、小学3年生～中学3年生を対象に自己認識や生活学習習慣などの総合質問紙調査と、中学2・3年生を対象に英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)実力測定テストを実施します。

予算額	3,491 千円
担当課	学校教育課



継

■ インクルーシブ教育推進事業

新見市特別支援教育推進センターを拠点に、障がいの有無に関わらず児童生徒が可能な限りともに学ぶインクルーシブ教育システム構築の推進とともに、長期欠席・不登校の児童生徒に対して支援を行います。

予算額	60,966 千円
担当課	学校教育課

DX

継

■ G I G Aスクール構想実現事業

全国に先駆けて平成26年度に整備した市内4中学校のタブレット端末と複合機の更新を行います。

予算額	54,244千円
担当課	学校教育課

DX

継

■ I C T教育推進事業

全小中学校に導入したタブレット端末や電子黒板などを活用し、ICT活用教育をより効果的に推進するため、ICT指導員及び支援員6名を配置して対応します。

予算額	20,893千円
担当課	学校教育課

継

■ 小学校大規模改修事業

学校施設長寿命化計画に基づき、西方小学校の大規模改修を行います。

予算額	293,700千円
担当課	教育総務課

継

■ 小中学校施設トイレ改修事業

学校トイレの洋式化、乾式化への改修を令和2年度～6年度の5ヵ年計画で行います。

本年度 設計委託：小学校3校・中学校3校、改修工事：小学校4校

予算額	222,000千円
担当課	教育総務課

継

■ 中学校施設維持修繕事業

新見第一中学校及び新見南中学校の特別教室にエアコンを設置します。

予算額	22,600千円
担当課	教育総務課



継

■ 学校連携コーディネーター配置事業

地域貢献意欲にあふれた新見を支える人材を育成し、高校の魅力化を図るため、学校連携コーディネーターを配置し、高校と小中学校・大学・地域・企業との連携を強め、地域に根差した取組を実施します。

予算額	2,431 千円
担当課	総合政策課



継

■ 高校魅力化推進事業

市内高校の魅力向上を図るため、オリジナル商品の開発や自校の魅力化に向けた取組を支援します。また、市内高校へ公共交通機関で通学している生徒に定期券購入の半額を助成します。

予算額	7,800 千円
担当課	総合政策課



継

■ 新見美術館特別展開催事業

新見美術館において、「誕生20年サンリオシナモロール展」と「紙の魔術師太田隆司ペーパーアート展」を開催します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額	12,500 千円
担当課	生涯学習課

IV 安全・生活基盤

～安全で、市民生活を支えられるまちをつくる～



新

■ 個別避難計画作成促進事業

避難行動要支援者の災害時における避難支援を実効性のあるものとするため、一人ひとりの状況に合わせた個別避難計画を令和6年度までの3年計画で作成します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額 6,500 千円
担当課 総務課



拡

■ 消防団員確保対策事業

近年災害が多発化激甚化する中、消防団に求められる役割が多様化しているため、消防団員の年額報酬等を増額改正し、消防団を中核とした地域防災力の充実強化及び団員の確保を図ります。

予算額 67,728 千円
担当課 消防本部



新

■ ドローン運用体制構築事業

ドローンを活用した災害等での情報収集は非常に有用であるため、消防に高性能のドローンを配備し、専門の操縦士を養成することによりドローンを運用できる体制を構築します。

予算額 4,257 千円
担当課 消防本部



新

■ 災害時情報共有体制強化事業

災害発生時における情報共有と安全管理を強化するため、多様な交信と出場各隊の位置情報取得ができるIP無線を導入します。

予算額 3,428 千円
担当課 消防本部



新

■ 自動車急発進防止装置整備費補助事業

高齢運転者のブレーキとアクセルの踏み間違いによる交通事故の防止のため、急発進を抑制する装置の購入費等の一部を助成します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額 1,500 千円
担当課 生活環境課



継

■ 消防庁舎整備事業

将来に渡る市民の安全安心な暮らしを実現するため、新見水舟地区に新たな防災拠点となる消防庁舎を建設します。本年度は、用地の購入や基本・実施設計などを行います。

予算額 269,150 千円
担当課 消防本部



継

■ 消防自動車購入事業

中高層建築物(5階以上)に対応できる13mブーム付多目的消防ポンプ自動車を購入します。

予算額 98,000 千円
担当課 消防本部



継

■ 防災訓練実施事業

自主防災組織と合同で情報伝達訓練から避難所開設、運営訓練などを行います。

予算額 3,000 千円
担当課 総務課



継

■ 防災用備蓄品整備事業

災害に備え、5年計画でアルファ米などの防災用備蓄品を整備します。(5年目)

予算額 4,000 千円
担当課 総務課



継

■ ため池ハザードマップ作成事業

防災減災対策として、自然災害により決壊した際、人家に対して甚大な被害が予想される防災重点ため池のハザードマップを順次作成します。(本年度 7箇所作成予定)

予算額 4,312 千円
担当課 農林課



継

■ 老朽化農業用ため池防災減災事業

ため池による災害を未然に防止するため、受益のない農業用ため池である西方の堀越池と千屋の加勢坂池について廃止します。

予算額 16,731 千円
担当課 農林課



継

■ 緊急自然災害防止対策事業（道路）

災害発生の予防または災害拡大を防止するため、道路防災工事を令和7年度まで集中的に行います。

予算額 400,000 千円
担当課 建設課



継

■ 緊急自然災害防止対策事業（河川）

災害発生の予防または災害拡大を防止するため、護岸改修を令和7年度まで集中的に行います。

予算額 170,000 千円
担当課 建設課



継

■ 緊急浚渫推進事業

災害発生の予防または災害拡大を防止するため、河川浚渫を令和6年度まで集中的に行います。

予算額 29,400 千円
担当課 建設課



継

■ 雨水対策河川改良事業

令和元年9月集中豪雨で災害の要因となった太田谷川・風木谷川の氾濫を防止するため、雨水対策事業を行います。

予算額 63,000 千円
担当課 下水道課



継

■ 特殊詐欺等被害防止対策事業

特殊詐欺被害防止対策として、満65歳以上の市民を対象に防犯機能を備えた電話機を購入した場合、5千円を上限に購入金額の半額を助成します。【ふるさとにしみ応援基金活用】

予算額	250千円
担当課	生活環境課

V 都市基盤・交通

～人と環境に配慮した質の高い都市基盤をつくる～

DX

新

■ コンビニ収納及びスマートフォン決済導入事業

市民の利便性向上のため、市税などの公共料金について、コンビニでの納付やスマホでの決済が行える環境を整備(令和5年度運用開始)するほか、一部市役所窓口にキャッシュレス決済システムを導入します。

予算額 47,455 千円
担当課 情報政策課

拡

■ 大佐スマートインター利用促進事業

大佐スマートインターの更なる利用促進を図るため、本年度からスタンプラリー周遊対象施設に満奇洞、千屋温泉、新見美術館などを加え、魅力度を高めることにより利用者増加につなげます。

予算額 2,000 千円
担当課 建設課

継

■ 新見駅周辺まちづくり検討事業

新見駅周辺まちづくり基本方針及び基本構想に基づき、民間活力の導入やまちづくり組織の立上げなど事業化に向けた検討を行います。また、地元高校生からの提案を実現するため新見駅構内にWiFiを整備します。

予算額 19,111 千円
担当課 都市整備課

継

■ 金谷地区土地区画整理事業

各種拠点施設が近接する金谷地区に、防災ネットワーク道路にもなる都市計画道路を基軸とした市街地を整備します。本年度は、地質調査、区画整理設計、想定換地設計及び実施計画書作成を行います。

予算額 81,176 千円
担当課 都市整備課

継

■ 鉄道利用促進事業

JR利用者の増加を図るため、令和3年度に設立した新見市鉄道利用促進協議会を中心に利用啓発活動や各種イベント等を行います。

予算額 300 千円
担当課 総合政策課



継

■ 県境鉄道サミット開催事業

JR芸備線・木次線でつながる自治体と連携し、地域住民の利用促進に向けた気運の醸成、地域間交流の推進、両線の乗車人員の増加等を図る取組を行います。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額	300 千円
担当課	総合政策課



継

■ 地域公共交通計画策定事業

地域にとって望ましい持続可能な交通ネットワークを構築するため、新たな地域公共交通計画を策定します。

予算額	6,300 千円
担当課	生活環境課



継

■ 予約型区域運行実証事業

芸備線の利用促進と効率的で持続可能な交通体系を構築するため、哲西地区と千屋地区で乗合タクシーの実証運行を行います。

予算額	22,148 千円
担当課	生活環境課

VI 環境

～自然を守り、安らぎと潤いのある環境をつくる～



新

■ 環境基本計画策定事業

市民・事業者・行政が一体となり、環境保全に関する施策を総合的に推進するため、新見市環境基本計画(令和5年度～令和14年度)を策定します。

予算額 7,300 千円
担当課 生活環境課



新

■ 住まいの脱炭素促進事業

家庭での脱炭素化を促進するため、蓄電池や普通充電器設置に係る経費の一部を助成します。

予算額 2,250 千円
担当課 生活環境課



新

■ 地域再生可能エネルギー導入目標策定事業

2050年脱炭素社会の実現に向け、本市における温室効果ガス排出量の削減を見据えた再生可能エネルギー導入に係る目標を設定します。

予算額 8,000 千円
担当課 生活環境課



新

■ 電気自動車用急速充電器設置事業

2050年脱炭素社会の実現に向け、電気自動車用の急速充電器を市役所と道の駅鯉が窪に設置します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額 13,420 千円
担当課 生活環境課



新

■ バイオマス原料配合ごみ袋導入事業

温室効果ガスの削減や石油資源の節約を図るとともに、市民の環境意識を高めるため、バイオマス原料を配合したごみ袋を導入します。

予算額 20,747 千円
担当課 生活環境課



継

■ 新たな森林管理システム構築事業

管理できていない森林を市が所有者から委託を受けて管理するため、経営管理権設定などの意向調査から森林整備まで行う「新たな森林管理システム」を構築します。【森林環境譲与税事業】

予算額	16,400 千円
担当課	農林課



継

■ 木質バイオマス利用促進事業

林地残材を未利用材としてチップ工場に搬出し、市内の木質バイオマス発電所で利用した場合や、未利用材の搬出等を条件に作業道を開設した場合にそれぞれ助成します。【森林環境譲与税事業】

予算額	28,300 千円
担当課	農林課



継

■ 市町村森林経営管理事業

森林経営管理法に基づき、意向調査等を実施した神郷油野地域で自然的条件から林業経営に適さない森林について市が間伐を行います。【森林環境譲与税事業】

予算額	10,000 千円
担当課	農林課



継

■ 森林保育支援事業

森林保育作業で岡山県森林組合連合会の補助対象外となる6～10年生の人工林で、下刈り作業を実施する場合、その経費の一部を助成します。【森林環境譲与税事業】

予算額	720 千円
担当課	農林課



継

■ 植林促進事業

森林の多くが標準伐期を迎え、今後主伐の増加が見込まれていることから、主伐後の苗木購入補助を行い、災害予防及び適切な森林整備を促進します。【森林環境譲与税事業】

予算額	19,500 千円
担当課	農林課

VII 交流・コミュニティ

～多様な人が集い、交流し、活躍するまちをつくる～



拡

■ ふるさと納税促進事業

ふるさと納税寄附件数の増加を図るため、ポータルサイトに「楽天ふるさと納税」と「ふるなび」を追加するなど広報を充実し、寄附金総額1億円以上を目指します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額	35,904千円
担当課	総合政策課



拡

■ 空き家活用推進事業

移住希望者が市内定住を目的に空き家を活用する場合、その経費の一部を助成します。また本年度から市内在住者のうち満40歳以下の方、もしくは中学校卒業までの子を養育している方も本助成の対象とします。

予算額	25,000千円
担当課	総合政策課



継

■ 関係人口創出事業

関係人口を活用した地域づくりのため、本市の応援団となる市外在住者に対し、「ふるさと市民証」を交付し、市内施設を利用できる半額助成券を送り来新の機会を創出します。【ふるさとにのみ応援基金活用】

予算額	621千円
担当課	総合政策課



継

■ 地域おこし協力隊事業

意欲ある地域外からの人材(地域おこし協力隊)を受け入れ、新たな視点・発想により本市の地域資源を再発見し、地域の元気づくり、集落の維持・活性化につなげます。

予算額	25,605千円
担当課	総合政策課



継

■ 移住定住支援事業

移住交流支援センターを拠点に、移住定住希望者の個別相談対応や現地案内、移住後における相談対応など、定住促進に向けたきめ細かな支援を実施します。

予算額	10,194千円
担当課	総合政策課



継

■ お試し暮らし支援事業

移住希望者に対し、市内での生活を実体験できる機会を提供するため、滞在費(宿泊費)の一部を助成します。

予算額	500 千円
担当課	総合政策課



継

■ ふるさと定住支援金支給事業

若年者の定住を促進し、地域を活性化するため、市内に定住し、市内又は通勤可能な市外事業所等において就業する新規学卒者に対し、1人10万円のふるさと定住支援金を支給します。

予算額	5,000 千円
担当課	総合政策課



継

■ 公募型まちづくり事業

地域課題の解決や地域活性化を目的に、市民団体等が自ら企画実施する事業を公募し、提案団体へモデル的に委託し実施します。

予算額	4,000 千円
担当課	総合政策課



継

■ 地域運営組織活動拠点施設整備事業

地域運営組織の活動拠点として、旧唐松小学校を解体し、跡地に市民センターとの複合施設を整備します(本年度は校舎等の解体と設計)。また、旧下熊谷・旧田治部小学校を改修し、地域が主体となって活動できる環境を整備します。

予算額	198,951 千円
担当課	総合政策課



継

■ 小規模多機能自治一括交付金事業

新見市版地域共生社会構築計画に基づき、小規模多機能自治に取り組む地域運営組織に財政支援策として、用途に必要な以上の制限を設けない一括交付金を交付します。(17団体を予定)

予算額	27,678 千円
担当課	総合政策課



継

■ 地域運営組織自立促進事業

地域運営組織の自立と経済基盤の強化を図るため、地域運営組織が行う自主財源確保に向けたコミュニティビジネスの取組を支援します。(上限200万円)

予算額	2,000 千円
担当課	総合政策課



継

■ 公立大学地域連携運営事業

地域共生推進センターに専門員を配置し、講演会等の実施により地域支援・地域連携を推進するとともに、学生たちの地域課題探求活動を支援し、地域共生社会を支える人材を育成します。

予算額	5,550 千円
担当課	総合政策課



継

■ 生活支援コーディネーター事業

【介護保険特別会計】市民センターや支局等に生活支援コーディネーターを配置し、共生社会の実現に向けた取組と連動しながら、地区の社会資源等の情報収集やネットワークを構築します。

予算額	27,031 千円
担当課	介護保険課

令和 4 年度 予算概要説明書

附 属 資 料

会 計 別 当 初 予 算 集 計 表

(単位：千円、%)

会 計 名	令和4年度	令和3年度	増 減 額	増減率
一 般 会 計	25,049,584	23,035,313	2,014,271	8.7
特 別 会 計 合 計	8,919,644	8,874,731	44,913	0.5
診療所特別会計	123,193	128,967	△ 5,774	△ 4.5
国民健康保険特別会計	3,445,072	3,457,311	△ 12,239	△ 0.4
事業勘定	3,296,207	3,279,913	16,294	0.5
直営診療施設勘定	148,865	177,398	△ 28,533	△ 16.1
介護保険特別会計	4,675,269	4,670,267	5,002	0.1
保険事業勘定	4,656,690	4,650,114	6,576	0.1
介護サービス事業勘定	18,579	20,153	△ 1,574	△ 7.8
後期高齢者医療特別会計	604,805	533,693	71,112	13.3
観光事業特別会計	57,817	64,363	△ 6,546	△ 10.2
豊永財産区特別会計	12,753	12,667	86	0.7
萬歳財産区特別会計	735	7,463	△ 6,728	△ 90.2
企 業 会 計 合 計	4,534,781	4,533,926	855	0.0
水道事業会計	1,882,875	1,985,371	△ 102,496	△ 5.2
下水道事業会計	2,651,906	2,548,555	103,351	4.1
合 計	38,504,009	36,443,970	2,060,039	5.7

一 般 会 計 当 初 予 算 歳 入 の 状 況

歳 入

(単位：千円、%)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減 額	増減率
自 主 財 源	5,527,540	4,773,666	753,874	15.8
市 税	3,402,664	3,315,913	86,751	2.6
分 担 金 及 び 負 担 金	97,096	103,327	△ 6,231	△ 6.0
使 用 料 及 び 手 数 料	196,377	207,898	△ 11,521	△ 5.5
繰 入 金	1,039,196	509,930	529,266	103.8
そ の 他 (財産収入・寄附金・繰越金・諸収入)	792,207	636,598	155,609	24.4
依 存 財 源	19,522,044	18,261,647	1,260,397	6.9
地 方 譲 与 税	442,160	344,980	97,180	28.2
交 付 金	762,900	775,273	△ 12,373	△ 1.6
地 方 交 付 税	11,603,000	11,403,000	200,000	1.8
国 庫 支 出 金	2,172,625	2,223,354	△ 50,729	△ 2.3
県 支 出 金	1,215,459	1,354,540	△ 139,081	△ 10.3
市 債	3,325,900	2,160,500	1,165,400	53.9
合 計	25,049,584	23,035,313	2,014,271	8.7

主 な 増 減 理 由

- 市税は、民間の設備投資により償却資産に係る固定資産税が増加したことにより増
- 繰入金は、ふるさとにのみみ応援基金、地域づくり振興基金、豊かな森のぬくもり基金などを活用することにより大幅増
- 地方譲与税は、森林環境譲与税、自動車重量譲与税の増額により増
- 国庫支出金及び県支出金は、新型コロナウイルス感染症対策事業補助金が増加したものの、災害復旧事業の進捗に伴う災害復旧事業費補助金の減少などにより減
- 市債は、災害復旧事業は減少したものの、消防庁舎や哲多認定こども園などの整備事業、哲西老人福祉施設改修事業、西方小学校大規模改修事業、道路や河川の緊急自然災害防止対策事業、市道改良舗装事業の実施により大幅増

一般会計当初予算歳出の状況（性質別）

歳出

(単位：千円、%)

区 分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
義務的経費	10,216,705	10,173,196	43,509	0.4
人件費	4,851,715	4,770,094	81,621	1.7
扶助費	1,968,960	1,908,146	60,814	3.2
公債費	3,396,030	3,494,956	△ 98,926	△ 2.8
消費的経費	8,960,621	8,133,859	826,762	10.2
物件費	4,034,662	3,580,038	454,624	12.7
維持補修費	445,987	252,786	193,201	76.4
補助費等	4,479,972	4,301,035	178,937	4.2
投資的経費	3,833,523	2,951,336	882,187	29.9
普通建設事業費	3,567,691	1,851,925	1,715,766	92.6
災害復旧事業費	265,832	1,099,411	△ 833,579	△ 75.8
その他	2,038,735	1,776,922	261,813	14.7
積立金	293,255	201,801	91,454	45.3
出資金	424,932	228,696	196,236	85.8
貸付金	49,484	48,096	1,388	2.9
繰出金	1,201,064	1,228,329	△ 27,265	△ 2.2
予備費	70,000	70,000	0	0.0
合計	25,049,584	23,035,313	2,014,271	8.7

主な増減理由

- 人件費は、消防団員の報酬改正などにより増
- 公債費は、市債の発行抑制や繰上償還を実施してきたことにより減
- 物件費は、I C O C Aを活用した地域活性化プロジェクト事業、コンビニ収納及びスマートフォン決裁導入事業などの実施により増
- 普通建設事業費は、消防庁舎整備事業、哲多認定こども園整備事業、地域運営組織活動拠点施設整備事業、哲西老人福祉施設改修事業、西方小学校大規模改修事業、道路改良事業などによる増
- 災害復旧事業費は、災害復旧事業の進捗に伴い減
- 出資金は、下水道事業会計への出資金の増

一般会計当初予算歳出の状況（目的別）

歳出

（単位：千円、％）

区 分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
議 会 費	159,590	164,649	△ 5,059	△ 3.1
総 務 費	3,439,943	3,224,410	215,533	6.7
民 生 費	5,848,150	5,321,818	526,332	9.9
衛 生 費	1,910,741	2,027,659	△ 116,918	△ 5.8
労 働 ・ 商 工 費	643,325	358,507	284,818	79.4
農 林 水 産 業 費	1,398,524	1,129,372	269,152	23.8
土 木 費	3,420,783	2,582,074	838,709	32.5
消 防 費	1,198,245	866,286	331,959	38.3
教 育 費	2,345,211	1,813,706	531,505	29.3
災 害 復 旧 費	265,832	1,099,411	△ 833,579	△ 75.8
公 債 費	3,396,030	3,494,956	△ 98,926	△ 2.8
諸 支 出 金	953,210	882,465	70,745	8.0
予 備 費	70,000	70,000	0	0.0
合 計	25,049,584	23,035,313	2,014,271	8.7

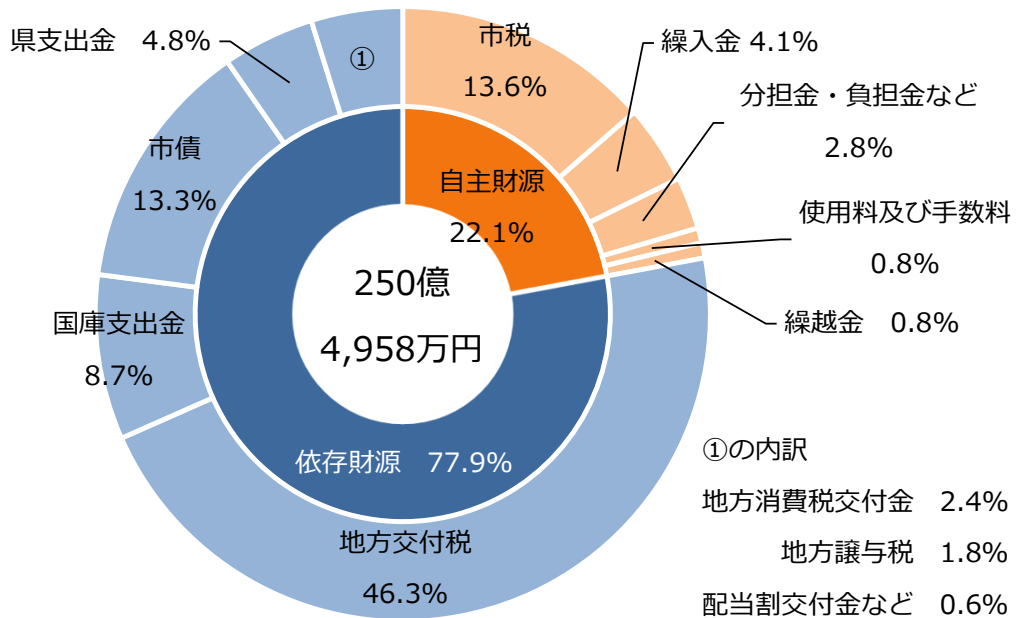
主 な 増 減 理 由

- 民生費は、哲西老人福祉施設改修事業、哲多認定こども園整備事業の実施などにより増
- 労働・商工費は、I C O C Aを活用した地域活性化プロジェクト事業の実施などにより増
- 農林水産業費は、強い農業づくり交付金事業、森林環境譲与税事業の実施などにより増
- 土木費は、道路改良事業の拡充、雨水対策河川改良事業の実施、下水道事業会計への出資金の増加などにより増
- 消防費は、消防庁舎整備事業の実施などにより増
- 教育費は、西方小学校大規模改修事業、小中学校施設トイレ改修事業の実施などにより増
- 災害復旧費は、災害復旧事業の進捗に伴い減

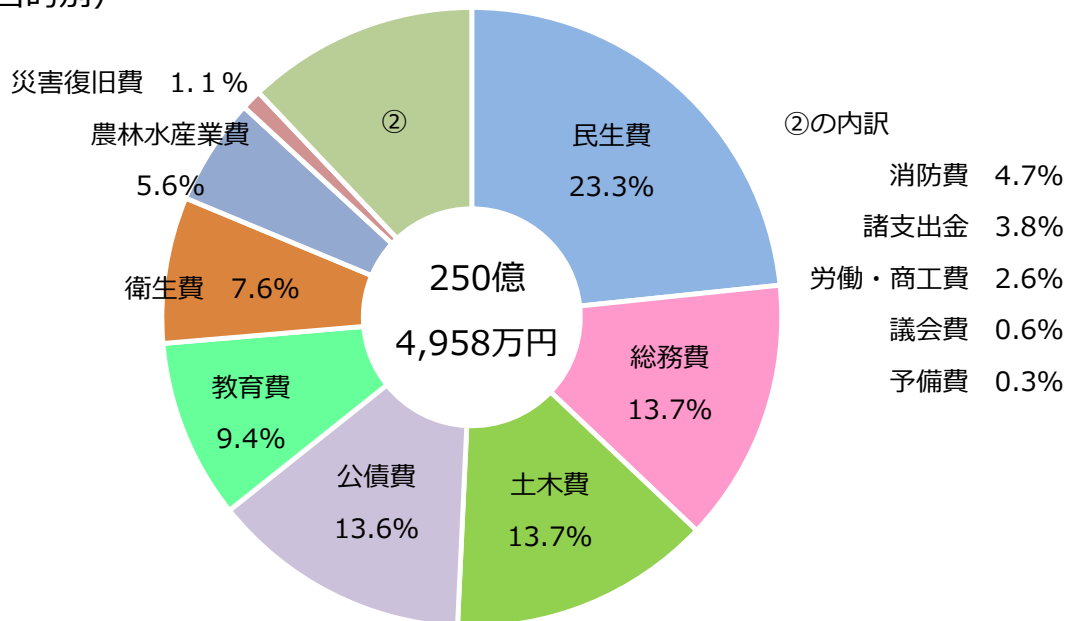
※ 本年度当初予算における地方消費税交付金（622,600千円）のうち社会保障財源化分（340,662千円）については、民生費の各種事業（子育て支援事業、高齢者福祉事業、障害者福祉事業など）に充当予定

令和4年度一般会計当初予算構成比率

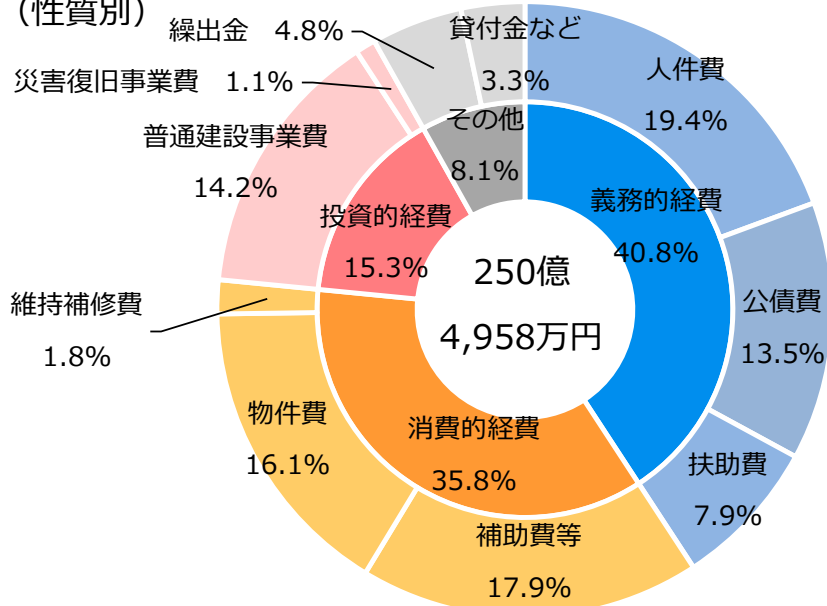
◆歳入



◆歳出（目的別）



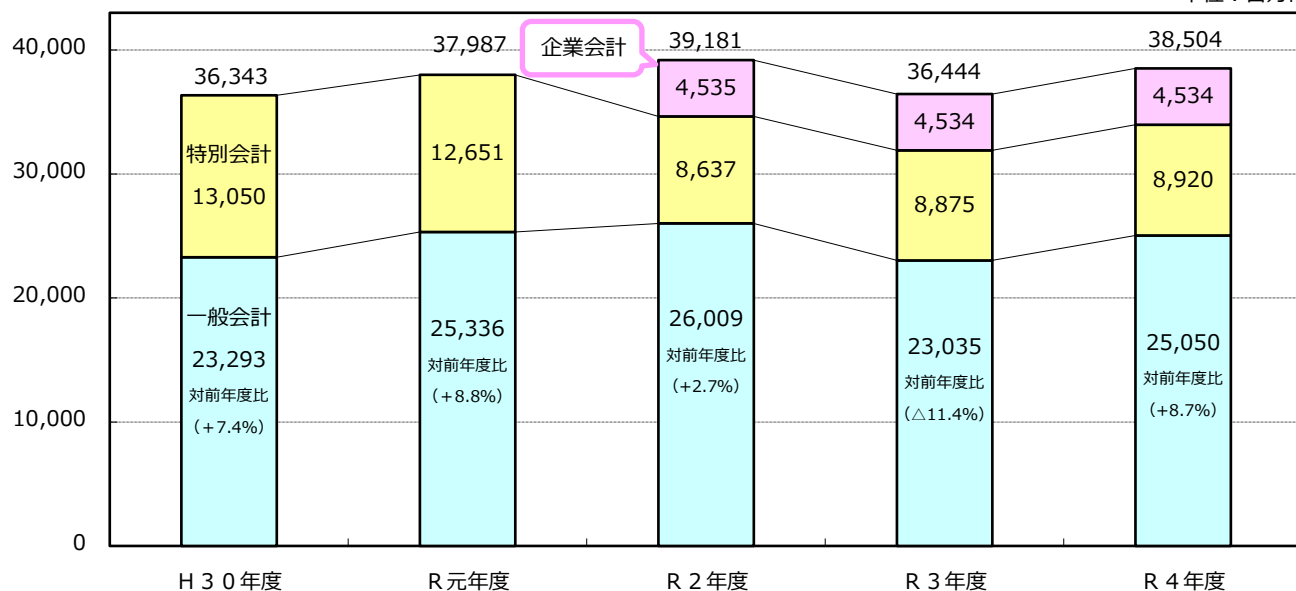
◆歳出（性質別）



※四捨五入の関係上、内訳が合計と一致しない場合がある

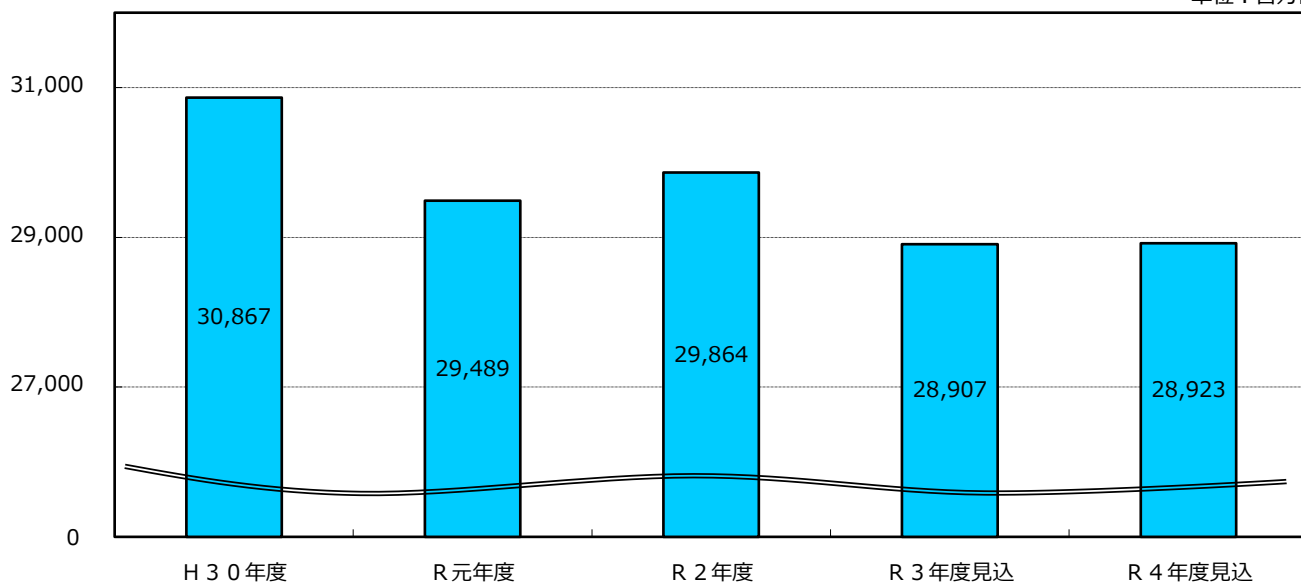
当初予算額

単位：百万円



一般会計地方債年度末現在高

単位：百万円



一般会計基金年度末現在高

単位：百万円

